

奈良市公民館運営審議会会議録

令和 7 年 10 月 27 日会議

令和7年度第1回奈良市公民館運営審議会会議録		
開催日時	令和7年10月27日(月) 午前10時00分から午前11時30分まで	
開催場所	奈良市役所 中央棟地下1階 B1 会議室	
議 題 又は 案 件	(1)令和6年度公民館事業実施状況及び利用状況について (2)令和7年度公民館事業の進捗状況について (3)奈良市公共施設予約システムの稼働について (4)平城西公民館の建て替え工事について (5)奈良市社会教育推進計画改訂について (6)その他	
出席者	委 員	今西委員、香川委員、紀委員、小西委員、小林委員、杉山委員、森委員、吉岡委員【計8人出席】
	事務局	教育長、教育部長、教育部次長、地域教育課長、地域教育課課長補佐、生涯学習財団事務局長、生涯学習財団事務局公益事業課長
開催形態	公開(傍聴人2人)	
担 当 課	教育部 地域教育課	
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等		
議事の内容		
○教育長挨拶		
○会議録の署名について		
議長から今回の署名委員の指名及び確認(紀委員と小西委員)		
(1)令和6年度公民館事業実施状況及び利用状況について		
〈生涯学習財団事務局説明〉		
令和6年度は482,695人の利用がありました。令和5年度と比較して、利用者数は約5.0%・22,850人の増で、5カ年連続の増となっております。当財団では、平成22年度から公民館事業に5つの重点分野を設け、全ての重点分野での事業開催を必須とすることにより、市内全域での充実した事業展開に努めています。また01から07までの7つの分類にわたってのバランスを意識して、年間565件の事業を実施し、延べ64,252人の方にご参加いただきました。令和5年度と比較しますと、事業数は2.7%・15件の増、受講者数は、約14.7%・8,217人の増となりました。最も増加したのは「体育・スポーツ・レクリエーションに関する事業」で、受講者数が、令和5年度から約53.8%・4,347人の増、令和3年度からは、約437.6%の増となっております。これまで人々が集う機会や、体力づくり、高齢者のフレイル予防へのニーズの高まり、それに応じた事業を積極的に実施してきたことによって、公民館が学習活動だけでなく、地域の気軽な健康づくりの拠点の一つとしても人々の生活において認識され、定着しつつあることを示しているのではないかと推察されます。公民館24館の主催事業に加えて、財団事業として取り組んだ「奈良ひとまち大学」と「子ども奈良 CITY」などをまとめています。また資料1「令和6年度 公益財団法人奈良市生涯学習財団の取り組みから」として、各公民館から選りすぐりの講座を2つずつ写真とともに集めました。『公民館要覧』とあわせてご覧いただき、講座の様子を感じ取っていただければと思います。		

【質問・意見等】 ♡:意見 ◆:質問 ◇:回答

- 委員 ♡報告を聞き、市民や地域のニーズに応じた新たな取組がなされてきていると思うと同時に、報告書には現れていない普段公民館で培われているものが出てくれば、より良いと思った。公民館まつりが各館で行われている時期だが、公民館利用者が自分たちの手で公民館を作っていくところは、自分事として主体性をもって取り組む当事者性につながっていると思う。自分たちの公民館を自分たちでつくっていく中で、住民自治や主体性が育まれていっている。成果として報告いただく書類は単年度であるが、年度を超えて育まれている参加者の変化や成果が見える形になればよいのではないかな。
- 委員 ♡前回の会議にてフリースペースについて議論したが、年度単位では中々成果が現れにくいと思われるので、数年単位で変化がわかるような資料があれば、よりよいのではないかな。

(2) 令和7年度公民館事業の進捗状況について

〈生涯学習財団事務局説明〉

資料1「令和6年度事業計画方針」にあるような令和7年度の方針に基づき、公民館24館と財団の事業として、424件、1,698回、募集定員8,103人の計画を組んでおります。資料2に「令和7年度 特色ある事業」として、「(1)重点分野別」、「(2)地域の自然・文化・歴史を体感する」事業、「(3)自主事業」をまとめております。「公民館でとっておきの夏休みを♪」のチラシをご覧ください。毎年夏休み期間に合わせて、地域限定の事業を除いた児童対象の事業をチラシにまとめたものです。これにより、多くの子どもたちの参加がありました。東部4館で取り組んでいる「プチ田舎暮らし」のチラシをご覧ください。奈良市東部地域における食・農・技に触れる体験をとおして、東部地域の魅力を知ってもらう事業です。前期と後期に分けて実施しています。次世代の社会参画推進事業として実施した「逃げる鹿ない！」のチラシをご覧ください。高校生から大学生を中心に、主体的に彼ら自身がオリジナルの「鬼ごっこ」を企画・運営し、参加者とともにルールづくりをして、奈良市黒髪山キャンプフィールドを会場に実施した事業です。

令和6年度の当審議会にて「青少年・若者の参加・参画の促進」についてご議論いただきましたが、その後、そのきっかけづくりとして、「中高生の居場所と自習スペースづくり」を組織的に取り組み、現在、公民館24館のうち7館で、自習スペースの運用を始めています。また、多世代の居場所づくりとして、申込不要や自由参加の健康体操やサロンなどを積極的に開催し、気軽に公民館に親しんでいただけるよう、引き続き努めてまいります。

【質問・意見等】 ♡:意見 ◆:質問 ◇:回答

- 委員 ◆公民館事業の案内を受け取ることがあるが、人が集まるのかを懸念していたら、人の集まりが悪いので来てほしいというお声がけをいただくことがある。公民館は事業をつくるにあたり、どのようにニーズをひろって講座を作られているのか。
また青少年の居場所・スペースについて、地域の公民館で実施していることを知らなかった。どのように広報されているのかを知りたい。
- 財団事務局 ◇ニーズの把握については、窓口業務での会話、講座受講者のアンケートや館長が地域団体の会議などに出席しニーズをくみ取り事業をつくっている。また財団としては、令和5年度からの5か年計画を立てており、5年後の目標を立てて館ごとに年次事業計画を立てて実施している。地域課題についてどのように学習につなげていくのかについては、複数年度での地域課題や事業の成果と課題について、各館から情報を集め、聞き取って目標を修正している。なお各事業の課題やニーズを文

章化して分析し事業計画に活かしている。

また発信については、主たる広報として「奈良しみんだより」への掲載が挙げられる。各館年 4 回以上公民館だよりを出しており、また財団としてメールマガジンを配信している。メールマガジンの登録者数は5千人を超えて増加傾向である。子ども関係であれば、「奈良市子どもの学び・体験ナビ」に小学生を中心とした事業等を掲載している。すべてのリンク元は財団ホームページの講座情報等に掲載している。また市の報道資料として提供している。またチラシを作成し自治会を中心にチラシ配布にご協力いただいている。

委員

◆議論にたびたび出ており、以前の会議でも情報発信について議論に出ていた。中学生や若者への対象事業でニーズに合いそうなものがあったとしても、LINE やインスタを活用した情報発信でないと、対象者に情報が届いていないのではないのか。そういった検討はなされているのか。

財団事務局

◇公民館事業自体では利用していないが、20代、30代対象の「奈良ひとまち大学」事業ではインスタグラム、Xなどを活用して情報発信している。経験は蓄積されつつあるが、公民館事業をどのように発信していけるか検討段階である。重要性は認識している。

委員

△地元の NPO 法人から頻繁にインスタグラムで情報発信があり、遠方に住んでいても地元の公園や学校のグラウンドでのイベント情報が都度入ってくる。若者はそういった情報をよく確認しているので、難しい部分もあると思うが、ぜひともインスタグラムの活用を検討してほしい。

財団事務局

◇貴重なご意見ありがとうございます。持ち帰り前向きに検討します。

委員

△地域の他団体と連携しながら事業を展開し地域の居場所を作っていくことは大切だと思う。若者の居場所づくりであるため、子ども若者と直接接することのできる縦軸のネットワークを意識して事業を展開すると、公民館を使ってもらえるという回路ができてくるのではないのか。例えば報告頂いた「子どもの参画ネットワーク奈良」はコミュニティが発達してユニークな事業が展開されている。ここに来ている中高生や大学生とタイアップして、児童や中高生を対象にした事業など。ぜひこの事業は継続的に検討していただきたい。公民館を活かしきるという意味で、例えば直前まで空いているスペースがあると思う。予約の入っていない部屋は稼働していない。利用手続きを取った上でだが、どこかのタイミングでそういったスペースを中高生が自習できるスペースとして中高生に広げていくなどできるのではないのか。千葉県船橋市では当日空いている公民館スペースを中高生に開放したことで公民館の利用の潮目を変えた公民館がある。夏休み中、当日公民館が空いていれば自習するのに使っていいと手続きを公開した。すると日々中高生が確認のため公民館に確認しに来て利用している。特に人気なのは和室。そこで公民館が若者と接する機会を作っている。こういった方向で検討していけば、奈良市ならではのユニークな展開も見えてくるのではないだろうか。

委員

△小中学生にとっては、話にも出ている通り公民館が遠い場所のように思われている。青少年の居場所という点でいうと、不登校が公立小中学校の一つの大きな課題としてある。学校の別室や学校自体が行きにくい児童には HOP などもある。公民館

も家から近いというアドバンテージがあり有難い。ただ青少年の居場所に加えて、青少年の活動場所があれば更によい。部活動の地域移行が進められている時期にあり、公民館は文化的活動を実施されている。活動時間を午後3時～4時にして、地域の方と児童と一緒に活動できる場所となれば有難いと思う。

委員

◇公民館と学校が近い、併設されている館は、その点を活用して青少年の居場所が発信されていけば、放課後の居場所にもなっていくのではないかと。自習スペースをこれだけ実施している。図書館での自習は難しいようなので、夏休みの自主スペースが公民館にもあればよいだろう。徐々に開発していただければと思う。

委員

◇居場所の自主スペースについて立ち上げがスピード感をもって取り組んでおられると思った。ただ居場所と活動場所で来たい若者が違うだろう。地域ごとに違うと思うので、地域の声をくみ取っていただきながら、その地域の皆さんで考えることを大事にしていきたい。

(3) 奈良市公共施設予約システムの稼働について

〈事務局説明〉

現在、奈良市では、奈良電子自治体共同運営ポータルサイト「e 古都なら」を使用し、一部の公共施設の予約申請を受け付けていますが、本年 11 月末をもってサービス終了となることを受けて、今後の本市の公共施設予約システムについて検討を重ねてきました。公民館の施設予約については、皆様もご存知の通り、「e 古都なら」にて生涯学習センター、西部公民館、中部公民館の施設空き状況の確認はできるものの、予約するには申請書に記入の上、窓口で直接提出する必要があり、ご利用者の方からは電子で予約申請できるようにしてほしいとの要望を頂いておりました。これまで公民館単独での予約システム導入に関する予算要求を行ったものの実現できておりませんでした。令和 5 年、令和 6 年に庁内で検討を重ね、市全体で構築するシステムとして、今年度予算を付けていただきまして、今年 5 月に業者選定のための入札が行われ、扶桑電通株式会社花落しました。このシステム導入により、公民館を利用される方が予約のために施設に直接赴く必要がなくなり、また施設側も業務の効率化やペーパーレス、窓口業務の簡素化につながる事が期待されます。双方の負担が減り、便利になることで、誰にとっても使いやすい公民館となるようシステム構築を進めていきたいと思っております。

資料 3 にシステムの概要を掲載しております。詳細な内容については決まり次第順次ホームページ等を通じて発信予定です。「e 古都なら」のサービスが 11 月末をもって終了するため、それまでに全システム構築を完成させる予定で現在調整しております。公民館につきましては、12 月から部屋の空き状況確認等一部の機能の運用を開始し、4 月から施設利用の申請を開始する予定で事務を進めておりますが、決まり次第広報させていただきます。

【質問・意見等】 ◇:意見 ◆:質問 ◇:回答

委員

◆このシステムを構築していただけることはとても助かる。e 古都奈良は使いにくかった。例えば半年後に大きなイベントをするのにあたり、早めに部屋を予約できるようになれば嬉しい。

事務局

◇現時点では、予約に関する期間はこれまでと変更はないが、3 ヶ月前からであれば利用者は期間前申請ができる。ただシステムでは対応できないため、公民館側に相談してほしい。

委員

◆予約システムが導入されることの利用者への広報について、シニア層の利用者が

すぐにシステムに対応できるかどうか懸念されるが、どのようなフォローを検討してもらえるのか。

事務局

◇システム利用に関してフォローが必要な方もおられると思う。公民館窓口でもシステム利用について相談に乗る事はできる。

委員

◆地域のふれあい会館もシステム導入の対象になるとあるが、指定管理者の中にはシステム利用に関して支援が必要な方もおられるだろう。例えば、公民館の職員が地域のふれあい会館指定管理者へ使い方をフォローするといった仕組みはあるのか。

事務局

◇全施設の指定管理者向けに市として操作説明会を実施しており、各施設所管課がフォローできるようにしている。公民館とふれあい会館で利用形態や設定内容が異なることもあり、直接的なフォローは難しいと思われる。

(4) 平城西公民館の建て替え工事について

〈事務局説明〉

平城西公民館の建て替えについて、前回会議以降の状況について、現在課として把握している内容をご報告させていただきます。今年度、神功小学校跡地の土地造成に関するプロポーザル及び議会での議決を経て、現在、公民館用地を含む、旧神功小学校跡地全体の造成に取り組まっています。隣接することも園と連携して、さまざまな世代の地域住民が気軽に集まり、活動できる場をめざしていきたいと思っております。なお今後のスケジュールについて、これだけの規模の開発になるため、本資料に記載しているスケジュールが変わることもあります。予めご了承ください。建て替え工事については、令和9年度末から令和10年頃に取り掛かる予定となっており、それまでの間に地区自治連合会と、建て替えを考える自主グループの2者が連携・協力して意見聴取を進めていく予定となっております。地区自治連合会は、自治会・自主防災組織・学校関係者・社会福祉協議会等の地域団体や地域住民、自主グループは公民館利用者の意見を聞き、最終的に地域全体の意見としてまとめる方向であると聞いております。地元説明会も適宜開催しつつ、地域から出てきた意見を大切にしつつ、また財団の意見も大切にしながら進めていきたいと思っております。

【質問・意見等】 ♡:意見 ◆:質問 ◇:回答

委員

♡平城西公民館移設先は地域の教育機関である学校、こども園が一つに集まっている。年齢関係なく人が集まる場になれば。これまで公共施設はきちんと線引きされており柵を設けて区切っている。50年前は柵もないフリースペースであったが、利用する方が危険でないのなら、なるべくお互いに行き来できるよう工夫できればよいのではないか。上記の話し合いにも何度か参加しているが、地域だけの声が反映できるというわけでもないのが難しいが。

委員

◆平城西公民館の建て替えについて、話し合いに参加されているのか。

委員

◇何度か参加している。業者選定までが大変だった。地域の声だけが反映できるわけでもない中で々難しい部分もある。

委員

◆これからの進捗状況については会議で出てくるのか。

事務局

◇長い期間での話だが進捗状況を会議でご報告していきたい。

委員

♡地域で話し合うプロセスが取られており大切だと思う。施設の建て替えについて全国的にも進んでいると思うが、地域住民に情報がいきわたっているのかはどこまでも課題となるだろう。この話し合いが行われたという情報発信を積極的にするとよいの

事務局

ではないか。間接的にはなるが、公民館をみんなで作っているという内容が他の校区の住民にも伝わればよいと思うので、ご検討いただければ嬉しい。

◇仰られるとおり、土地開発に関する部署からの説明会も繰り返し行われ、議会での議論を経て、プロポーザルを実施するなど何年もの間進めてきたが、知らない住民の方もおられ情報発信が難しいと感じている。地域の方とも相談しながら発信をしていきたい。

(5) 奈良市社会教育推進計画改訂について

〈事務局説明〉

教育長からの挨拶にもありましたが、計画改訂の時期が変更となったため、ご報告させていただきます。奈良市では、市の総合計画として「第5次総合計画」を策定しております。この計画を最上位計画と位置づけ、市全体としてめざす方向性を共有しながら、市の様々な個別計画を策定し推進しております。社会教育行政の方針を示す個別計画である社会教育推進計画についても策定しており、令和3年度～令和7年度までの期間を設定した上で、奈良市教育振興基本計画及び他部局の関連諸計画と連携し整合性を図っております。これまで総合計画、教育振興基本計画と計画期間を合わせて取り組んでおりましたが、コロナ禍の際に市総合計画が期間を1年遅らせたことにより、計画期間にずれが生じていました。市総合計画の後期推進方針が令和9年度から始まることから、計画期間を揃え、より効果的に計画を進めていくために、市社会教育推進計画を1年間延長し、次期計画の開始時期を令和9年4月からいたします。今後の改訂に関する議論については、社会教育委員会議を中心に順次進めていきますが、皆さまにも適宜改訂状況について共有させていただきたいと思っております。なお計画期間が延長されたことから、市民へのアンケートについても総合計画の内容を鑑みながら、次年度実施していきたい。

【質問・意見等】 ◇:意見 ◆:質問 ◇:回答

委員

◆アンケートはどういう内容を考えているのか。

事務局

◇市民の方がどのようなことをまなびたいと思っているのか、まなびに対して実施しづらい理由などを伺いたいと思っている。社会教育委員会議にてご意見があり、10問以下に抑えて答えて頂きやすいようシンプルなアンケートを考えている。

(6) その他

【質問・意見等】 ◇:意見 ◆:質問 ◇:回答

委員

◆毎年子ども奈良 CITY の事業について報告いただいている。年度をまたいで長年実施されている事業だが、これまでの議論や動きなど年度をまたいでの事業成果や今後のビジョン、目標をもって実施されたいと思っているのか等を知りたい。館ごとにニーズが違っていると以前聞いた。各館での議論や動きなど、またモデル的に実施されていることがあれば、事例も交えて教えていただきたい。

財団事務局

◇「逃げる鹿ない！」(次世代の社会参画推進事業 子ども奈良 CITY)について、高校生や大学生が中心となって、自分達の同世代を集めてこれからの事業を企画していきたいと実施。次に子ども奈良 CITYでは彼らがリーダー作戦会議のリーダー役となり、参加者である小中学生のリーダーに伴走している。事業として8年実施しており、当時参加していた子どもたちが、成長してリーダー役として参加するなど、講座に参加して終わりではなく、事業企画側に入ってきていることが一つの成果で

	<p>ある。また自分たちでグループを作り、公民館で活動する中で、SNS 活用などを大人に伝えるなど自主グループとして活動している。財団として後方支援し次につながっていくように支援している。</p> <p>青少年の参画の見通しについて、青少年の居場所・自主スペースは入口だと思っている。公民館に行ってみようというきっかけになればよい。青少年がしたいことについて相談に乗れるよう信頼関係構築を行うことで、活動の場ともなればと思っている。その上で、公民館だけではなく地域の方や地域団体ともつながっていく事業展開になればよい。また彼ら自身が次の担い手につながればよいと思う。地域の自治について公民館は民主的な場であり、コミュニケーションを大切にし、世代を超えた場である。単年度ではなく数年単位で事業を展開し育ってきた若者と事業企画をしていくといったしかけも作っていつている。</p>
委員	<p>◇公民館の存在意義を考える時、館で学習権を保障することは言わずもがな、近年強調されていることは、まなんだことが地域にどのように循環しているのかが大切。循環していると思うが、公民館の成果として正確に把握するに至っていない。今財団から説明のあった事例についても循環している内容についてだったが、どう成果として見せるのか。主催事業や自主グループの循環内容について、丁寧にこれらの成果を把握し、場合によっては社会教育委員会に提供できるように備えて置くことも必要ではないか。</p>
委員	<p>◆年度変わって公民館長の兼務状況について知りたい。</p>
財団事務局	<p>◇東部4館を2館ずつ館長が兼務している。今年から都祁・田原が兼務館長。</p>
委員	<p>◇賃金の上昇に伴い職員を潤沢に配置することが非常に厳しい状況だとわかっているが、利用者へ影響が出ていかないか少し心配している。</p>
委員	<p>◆公民館運営審議会の定例会議の実施時期について、第1回目の実施時期が変動あるようだが、来年以降も継続してこの時期になるか。</p>
事務局	<p>◇今年是社会教育推進計画の審議状況に合わせて10月会議を想定していたため実施時期に変動があった。</p>
委員	<p>◇公民館運営を後押ししていくにあたり、24 館もあるため中々難しい部分もある。公民館運営審議会の委員について改選を控えているが、次回はぜひ公民館の利用者から選出をご検討いただきたい。委員の選出についてご相談いただければ委員選出について意見を出すこともできる。</p>
資 料	<p>・令和7年度第1回奈良市公民館運営審議会 次第</p> <p>・名簿「第38期 奈良市公民館運営審議会委員」</p> <p>・資料1～5</p>